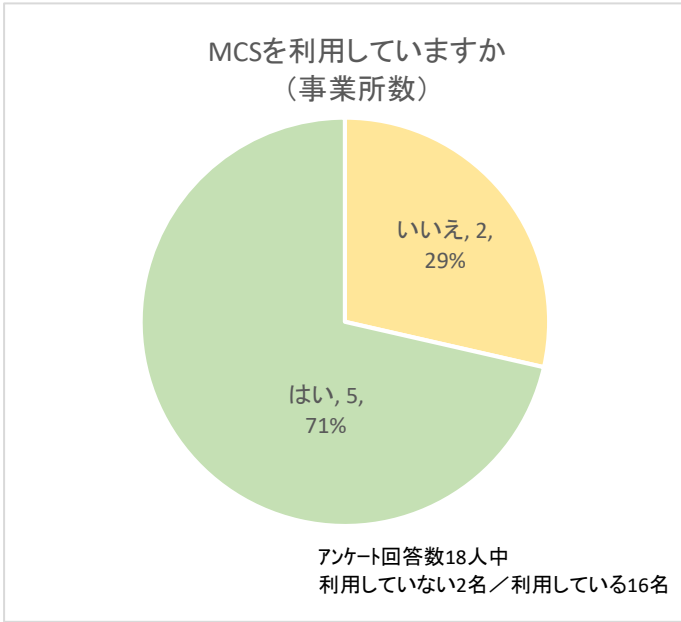


メディカルケアステーション(MCS)に関するアンケート調査結果

No.1

調査期間: 令和3年12月7日～12月15日
 事業所: 訪問看護ステーション
 アンケート回答数: 18名
 事業所回答率: 54%
 (7事業所/13事業所)

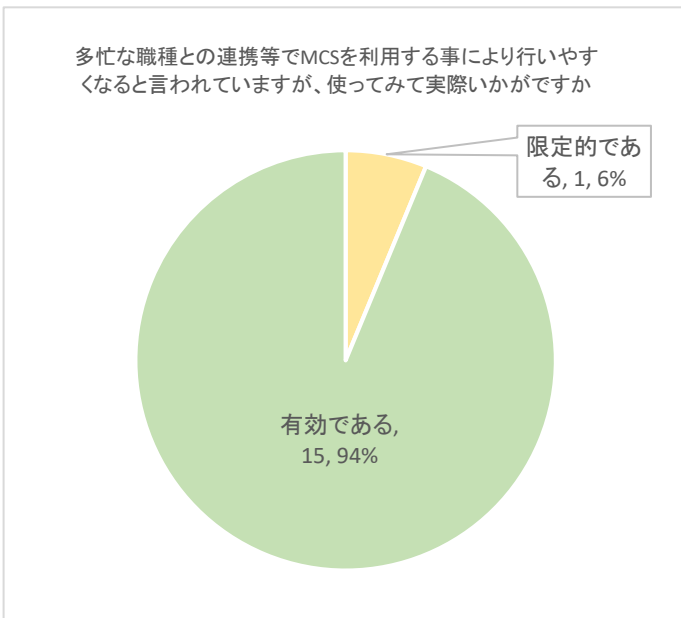
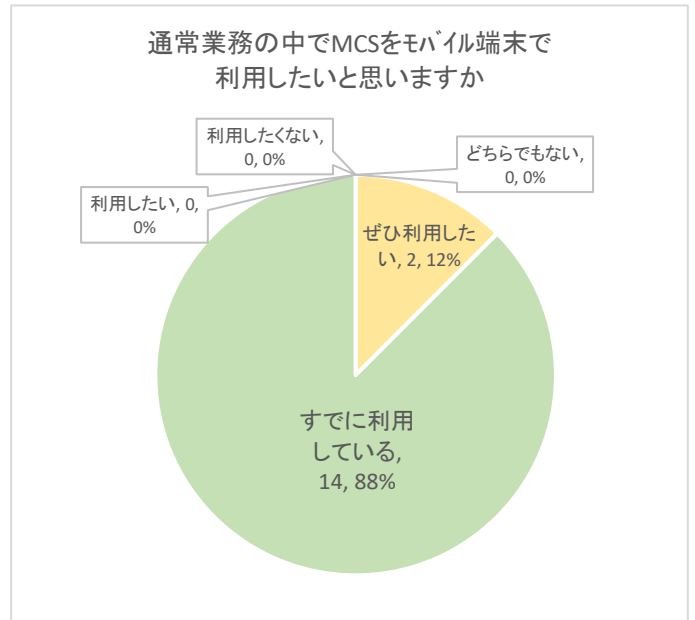
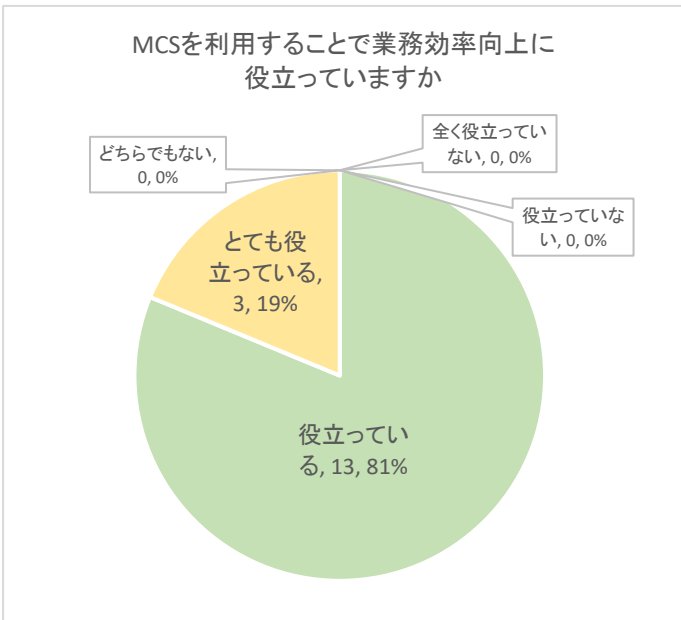


利用していない理由

- ・全てアナログにて電子機器の導入ができていない状態です。
 - ・特にないですが、今まで機会がなかった。
- 利用していないが、今後使ってみたいと回答

MCSを利用して情報共有している患者数について

	0～10人	11～20人	21人～
現在の人数	7	1	1
最大時の人数	5	1	1

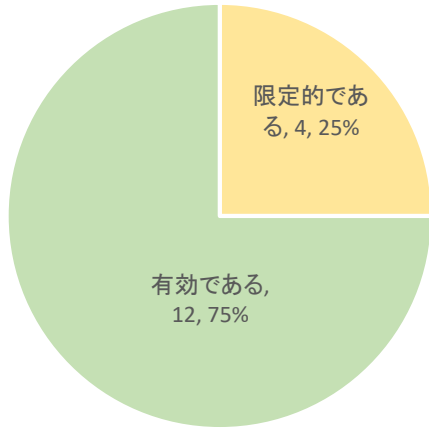


限定的な理由

- ・記録作業が増えている。状態が安定している時の記録まで入力する感じになっている。月1回の報告書の必要性がないのではないかと思ってしまう。

調査期間: 令和3年12月7日～12月15日
 事業所: 訪問看護ステーション
 アンケート回答数: 18名
 事業所回答率: 54%
 (7事業所/13事業所)

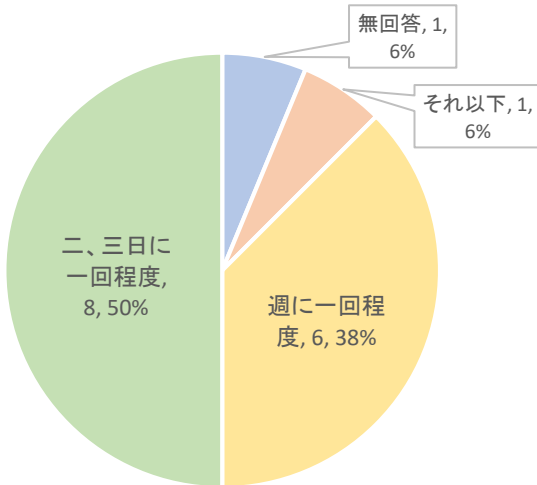
リアルタイムでのコミュニケーションについて



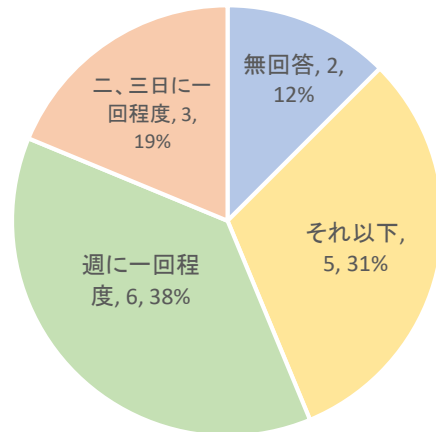
限定的な理由

- ・急ぐ時は電話連絡が必要。情報が入ってきても、自分自身が訪問中の時は、すぐに見る事ができない為。
- ・常にMCSを見てない。
- ・忙しい時にはすぐ入力できない。
- ・訪問看護は移動している時間も多いため、毎回リアルタイムで見erには難しいが、訪問中でのリアルタイムでのコミュニケーションは有効(相手がリアルタイムで対応できれば)。ずっとMCSを見ていないわけではない。

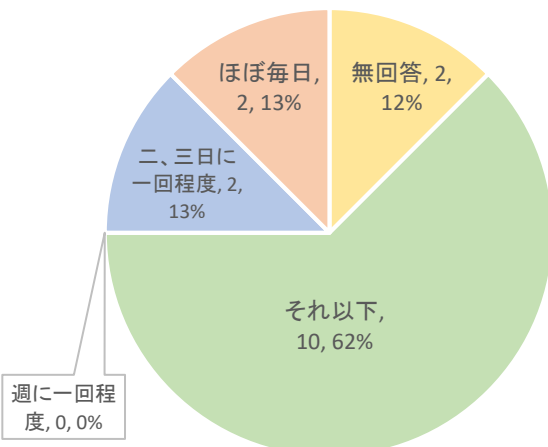
アクセス頻度(直近1週間において)



情報交換を行った頻度(直近1週間において)



夜間休日の使用について(頻度)



調査期間: 令和3年12月7日～12月15日
 事業所: 訪問看護ステーション
 アンケート回答数: 18名
 事業所回答率: 54%
 (7事業所/13事業所)

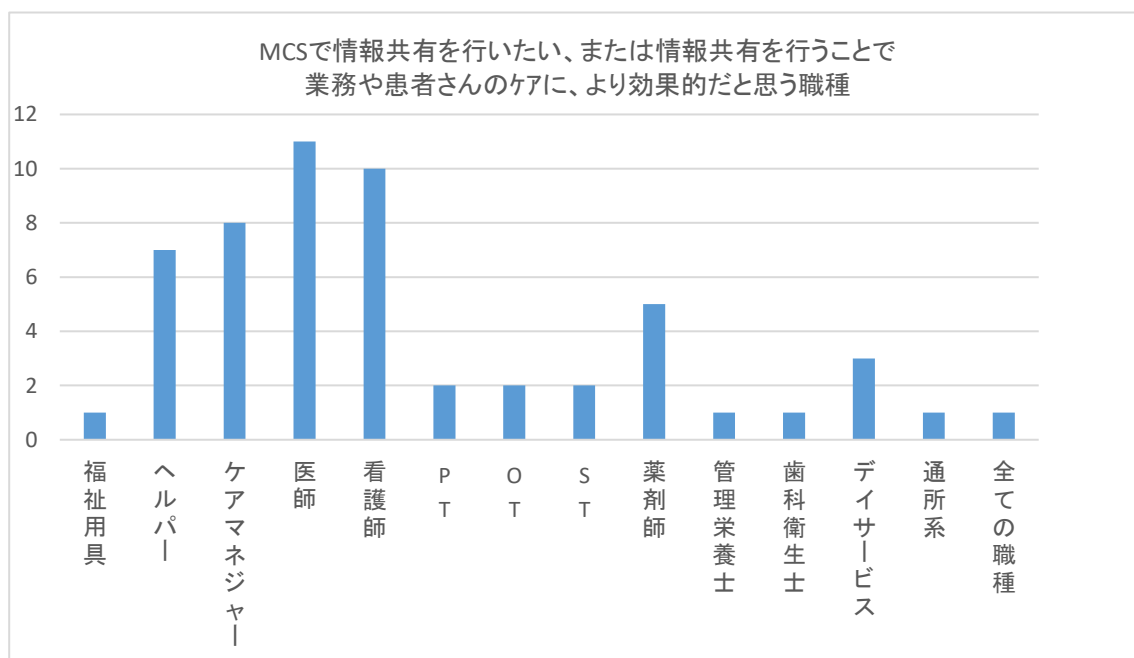
MCSを利用して他事業所(多職種)との連携を行って見て

【良い点】

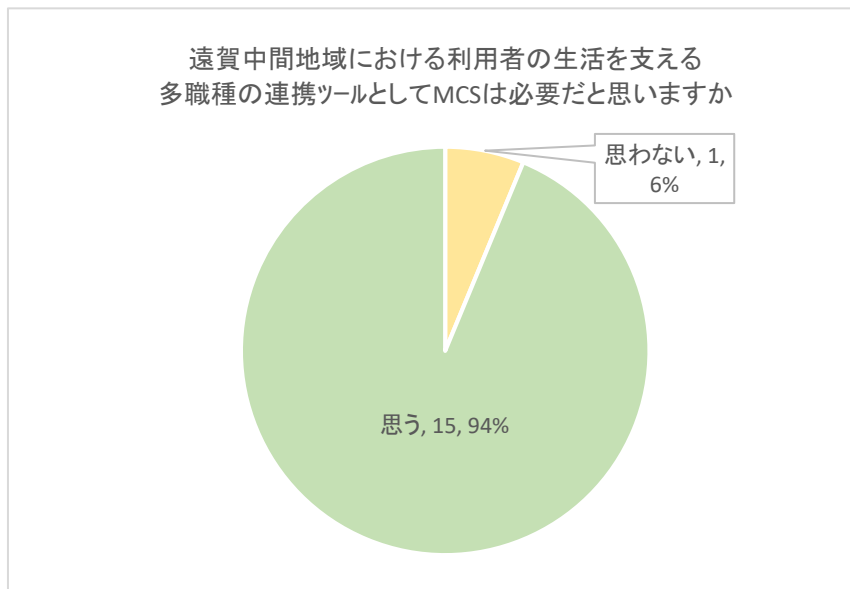
- ・情報が多職種に伝わるので連携がしやすい。早く動ける。
- ・連携がとれているので、転倒した時など、一斉に知らせる事ができる。Drに指示がもらいやすい。相談しやすい。
- ・お互いに空いた時間に記録(MCS)が利用できること。
- ・ヘルパーやケアマネからの情報が入る。(いついつ転倒したや、痛がっているなど)
- ・タブレット使用することで訪問中でも情報交換がリアルタイムで行える。画像の共有が行える。
- ・すぐに状態報告ができる。(画像も送れる)
- ・情報をすぐ伝えられる。
- ・Ptの情報共有ができること。Ptの状態悪化の時にも、すぐに他職種に伝えられることが良い。
- ・電話しなくていい。
- ・急がない報告をする時に、ゆっくり報告できる。
- ・他の事業所の介入状況がわかる。情報共有が統一できる。電話するまでもない事の情報報告ができる。(相手の状況を考えながらTELLしていた)
- ・情報共有ができる。

【悪い点】

- ・なし。
- ・勤務時間に見る暇がなく、家に帰ってからプライベートの時間に見る事が多い。報告を打つ暇がなかなか作れない。
- ・ルール決めをしておかないと、業務量が増える(毎日の入力など)。
- ・パスワードがやや面倒。MCSにあげて良い内容か悩む。
- ・テンプレートがない(バイタル)。見にくい時もある(いつ返事が来たかわからず)。
- ・すぐ見てほしい時情報交換にはつかえない。
- ・急ぐ時、電話報告だけでなく、MCS入力も求められると、多忙時は困る。
- ・訪問しながら活用しているので、リアルタイムのやりとりを望まれると、打つ時間が必要になるので困る。時間に追われる。援助時間が少なくなる。一方的なやり取りとを感じる事もある。



調査期間: 令和3年12月7日～12月15日
 事業所: 訪問看護ステーション
 アンケート回答数: 18名
 事業所回答率: 54%
 (7事業所/13事業所)



【理由】

- ・他職種とのリアルタイムな情報交換ができるので、必要だと思う。
- ・なかなか電話がとれない。連絡ができない。自分に合った時間、訪問の間にMCSを車の中で読める。情報がリアルタイム。
- ・ケースにはなると思います。
- ・TELじゃなく、文で伝えられる。無駄な情報かもしれないが、情報を共有できる。CMやNsなどは情報交換できやすいが、その他の職の人と連携できる。
- ・タブレット使用することで訪問中でも情報交換がリアルタイムで行える。画像の共有が行える。
- ・情報の共有ができる。
- ・あれば便利。
- ・Ptへよりよいケアを提供するために、Ptに関わる職種の連携が必要だと思うため。
- ・MCSを利用中の事業所がかなり限定的。
- ・訪問頻度の低い職種の方でも状態把握できると思うから。
- ・MCSでなければいけないとは思わないが、情報共有のツールがなにかしら必要とは思う。
- ・多事業所への連絡がMCSがあると共通理解しやすい為。

その他、MCSに関して気付いたことなど

- ・MCS自体の反応が遅いこともあり、入力しても反応が遅かったりすると時間を要す。
- ・MCSに情報をほとんどあげることがない人がいる。どこまでの情報をMCSにあげるか悩む。
- ・在宅ノートを使用している病院もあるが、そのノートとMCSと両方に記録しないといけないのかが、ずっと気になっている。
- ・チャット的な利用には向いていないと思う。(つながりの活用が個人アドレスで入らなければいけないので)